



令和3年度石綿セメント管残存延長 —水道統計に基づく試算結果— (その1)

(はじめに)

石綿セメント管は耐震性が特に低く、早期の布設替えが求められていることもあり、全国的な状況及び水道事業体別にみた状況などを具体的なデータに基づいて把握するため、これまで、各年度の水道統計を基に「石綿セメント管残存延長」の試算結果を水道ホットニュースで紹介してきました。

ここでは、「令和3年度水道統計」に基づく「令和3年度における石綿セメント管残存延長」の試算結果を中心に紹介することとします。

1. 石綿セメント管残存延長の推移（全国、用水供給＋上水道＋簡易水道）

以下の図表は、石綿セメント管残存延長（全国合計）の推移を、水道用水供給事業、上水道事業、簡易水道事業の別及びこれら事業の合計で示したものである。

石綿セメント管残存延長は着実に減少している一方、簡易水道事業の上水道事業への統合もあり、令和3年度においては上水道事業が残存延長全体の88.10%を占めている。

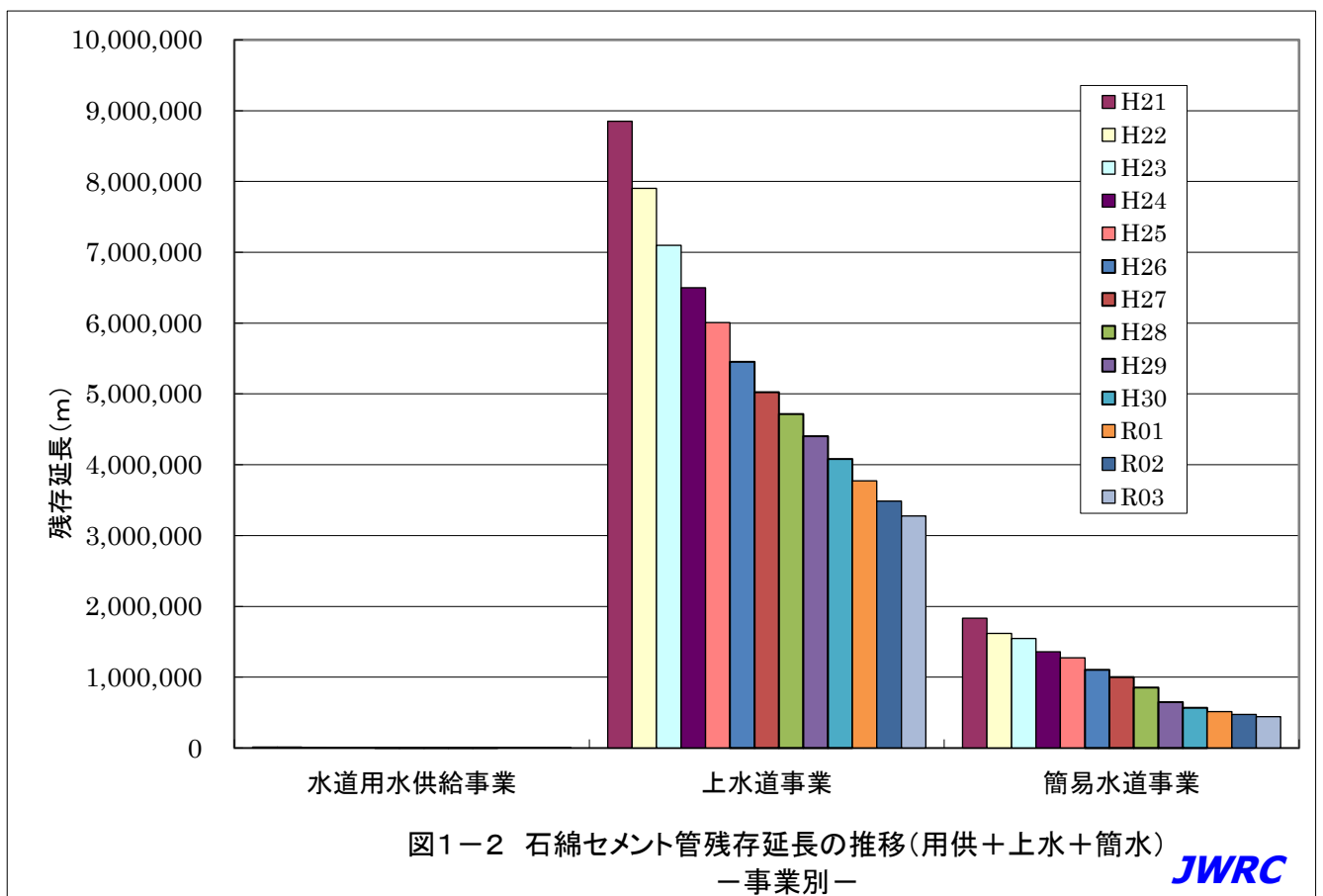
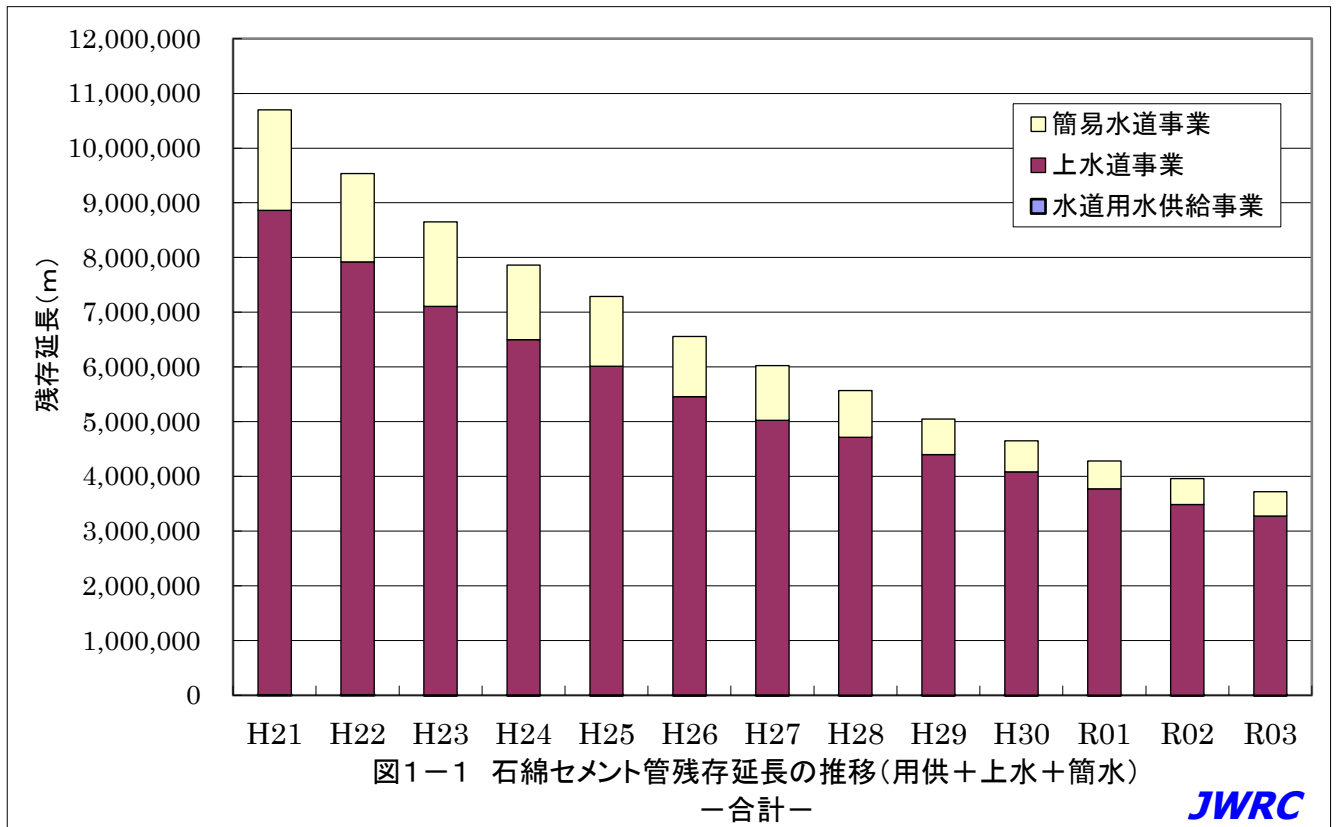
表1 石綿セメント管残存延長の推移 (単位:m)

	水道用水供給事業	上水道事業	簡易水道事業	合計
平成21年度	13,887	8,850,937	1,834,200	10,699,024
平成22年度	13,887	7,903,895	1,616,100	9,533,882
平成23年度	8,016	7,097,082	1,545,300	8,650,398
平成24年度	3,648	6,497,466	1,360,200	7,861,314
平成25年度	3,648	6,010,028	1,275,059	7,288,735
平成26年度	3,648	5,453,082	1,102,843	6,555,925
平成27年度	3,152	5,022,877	1,000,767	6,026,796
平成28年度	43	4,714,527	854,462	5,569,032
平成29年度	43	4,401,059	646,421	5,047,523
平成30年度	43	4,083,440	565,935	4,649,418
令和元年度	100	3,771,354	513,606	4,285,060
令和2年度	100	3,485,311	472,731	3,958,142
令和3年度	100	3,276,435	442,266	3,718,801

表2 (参考)令和3年度における事業別割合

(単位:%)

	水道用水供給事業	上水道事業	簡易水道事業	合計
令和3年度	0.00	88.10	11.89	100

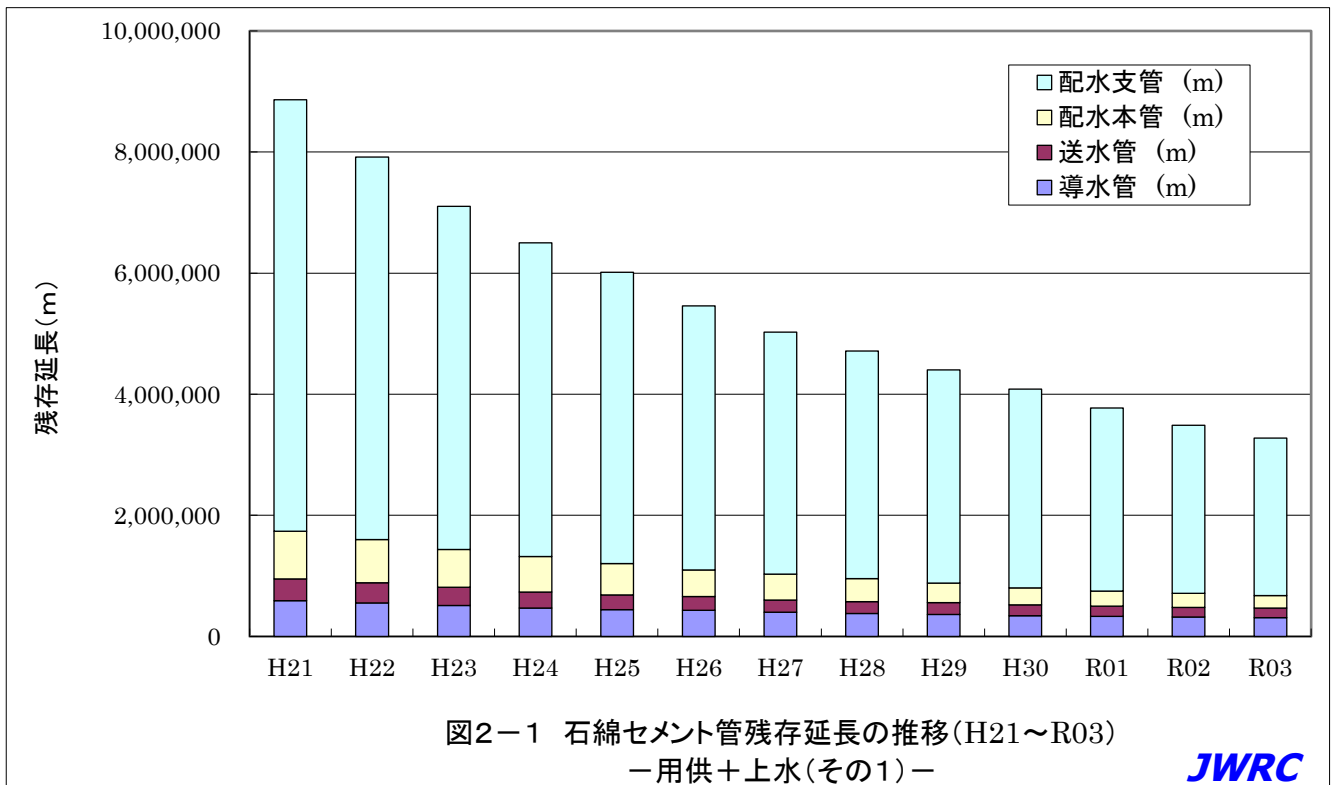


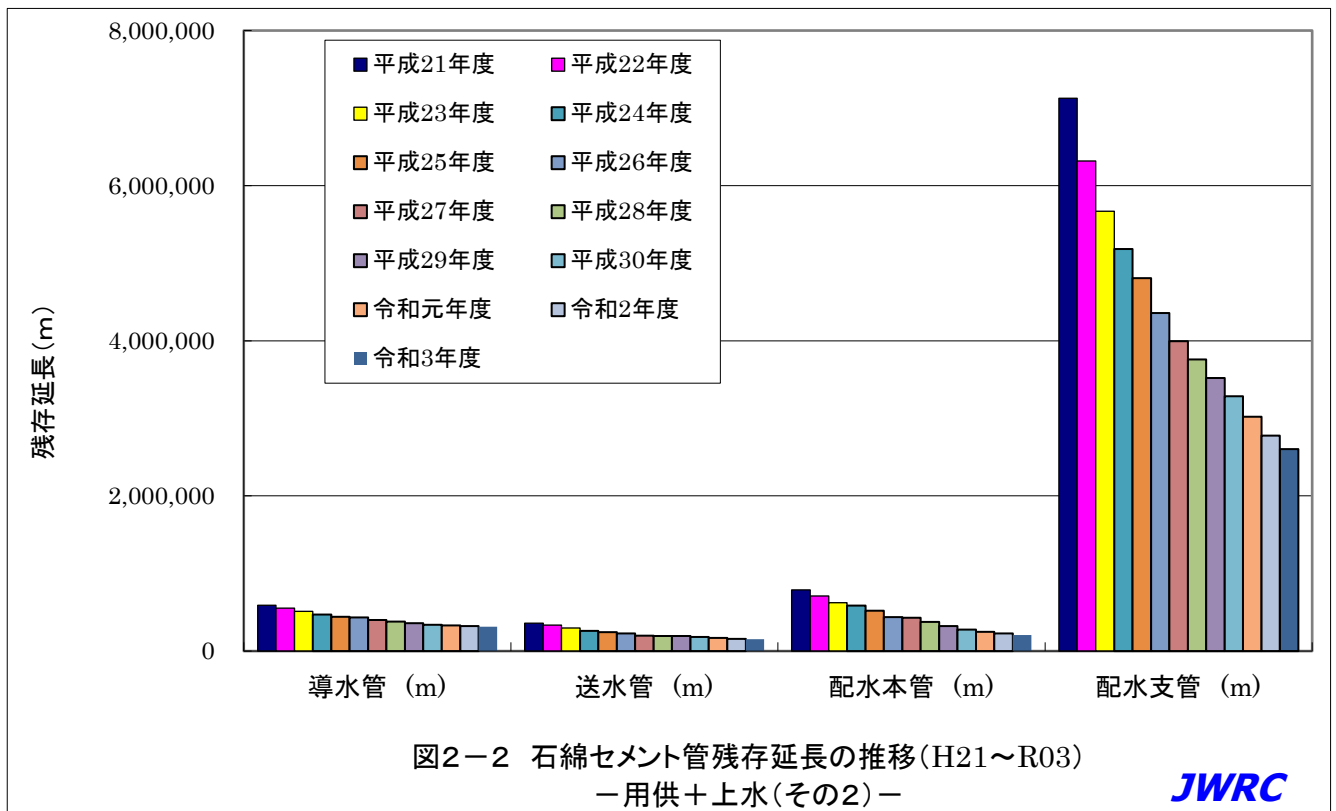
2. 石綿セメント管残存延長の推移（全国、水道用水供給事業＋上水道事業）

全国（水道用水供給事業＋上水道事業）の石綿セメント管残存延長の推移は以下のとおりであり、令和3年度では配水支管が全体の79.5%を占めている。

表3 石綿セメント管残存延長の推移（全国、用水供給＋上水道）

	導水管 (m)	送水管 (m)	配水本管 (m)	配水支管 (m)	合計 (m)
平成 21 年度	589,239	360,143	787,453	7,127,989	8,864,824
平成 22 年度	552,191	336,206	710,226	6,319,159	7,917,782
平成 23 年度	511,379	299,344	623,366	5,671,009	7,105,098
平成 24 年度	469,180	261,659	587,541	5,182,734	6,501,114
平成 25 年度	443,831	242,331	518,922	4,808,592	6,013,676
平成 26 年度	433,437	226,337	439,966	4,356,990	5,456,730
平成 27 年度	399,394	200,769	430,499	3,995,367	5,026,029
平成 28 年度	380,089	194,976	377,622	3,761,883	4,714,570
平成 29 年度	361,394	196,647	323,281	3,519,780	4,401,102
平成 30 年度	340,165	184,080	275,660	3,283,578	4,083,483
令和元年度	330,227	169,037	249,641	3,022,449	3,771,354
令和 2 年度	320,799	159,151	229,690	2,775,771	3,485,411
令和 3 年度	312,994	153,584	206,031	2,603,926	3,276,535





(担当) 調査事業部 主任研究員 松本 浩明

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S飯田橋ビル7F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <https://www.jwrc-net.or.jp/publication-outreach/hotnews/>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。